

令和 7 年度近畿中国四国農業試験研究推進会議 畜産草地推進部会 問題別研究会  
「近畿中国四国地域における地域資源を活用した和牛生産と今後の温暖化・環境変動に  
適応した草地飼料生産研究の取り組み」

開催要領

近畿中国四国農業試験研究推進会議  
畜産草地推進部会長  
渡邊 也恭

1. 趣旨

現在、海外からの輸入飼料の高騰などを要因として、我が国の肉用牛経営は収益が上がりにくい状況となっており、地域資源など国産飼料を活用しながら、低コストで和牛を生産することが重要となってきた。一方、近年の温暖化や極端な気象変動の増加等により、夏季における牧草の衰退や従来と異なる作物・品種の選定や栽培などのニーズも高まってきている。また、新たな食料・農業・農村基本法で謳われている環境と調和のとれた食料システムの確立という観点からは、環境負荷を低減した、牧草の栽培技術や草地の維持技術の向上が求められている。

こうしたことから本問題別研究会では、地域資源を活用した和牛生産の重要性を確認するとともに、既に先行して取り組まれている事例の紹介、並びに温暖化や環境に配慮した草地維持と飼料作物生産のための最先端の研究等について紹介し、地域資源を活用した和牛生産について検討する。

なお、本問題別研究会は日本草地学会と共催し、2026 年度日本草地学会島根大会期間中に開催する。

2. 共催

近畿中国四国農業試験研究推進会議畜産草地推進部会、日本草地学会

3. 開催日時

令和 8 年 3 月 28 日(土曜日) 9:00～12:00

4. 場所

松江テルサ（〒690-0003 島根県松江市朝日町 478-18）

5. 対象範囲

近畿中国四国地域公設試験研究機関・行政普及部局、日本草地学会会員、近畿農政局、中国四国農政局、大学、(独)家畜改良センター、農研機構、その他部会長が認める者

6. 内容

1) 開会挨拶

( 9:00～ 9:05)

近畿中国四国農業試験研究推進会議畜産草地推進部会

部会長 渡邊 也恭 氏

- 2) 地域資源を活用した和牛生産 事例紹介 ( 9:05～ 11:00)
- (1) 島根県における地域資源を生かした和牛生産の取り組み ( 9:05～ 9:30)
- 島根県農林水産部畜産課 調整監 山木 康嗣 氏
- (2) 山口県阿武町における無角和種の生産の取り組み ( 9:30～ 9:55)
- 阿武町プロジェクトマネージャー 渡邊 雅之 氏
- <休憩> ( 9:55～10:05)
- (3) 高知県における土佐あかうしの生産振興について (10:05～10:30)
- 高知県農業振興部畜産振興課 課長補佐 公文 喜一 氏
- (4) 地域資源を活用した紀州和牛生産の取り組み (10:30～10:55)
- エコマネジメント株式会社 社長 阪口 宗平 氏
- <事例紹介まとめ・質問・休憩> (10:55～11:15)
- 3) 温暖化・環境変動に対応した草地維持・飼料生産研究 (11:15～11:55)
- (1) 西日本低標高地域における永年牧草地の造成・維持 (11:15～11:35)
- 家畜改良センター鳥取牧場 業務課 寺戸 貴裕 氏
- (2) 暖地におけるみどり戦略に対応したトウモロコシ栽培 (11:35～11:55)
- 西日本農業研究センター 上級研究員 伊東 栄作 氏
- 4) 閉会挨拶 (11:55～12:00)
- (仮) 島根大学生物資源科学部・農林生産学科畜産学研究室
- 教授 一戸 俊義 氏

## 7. 参加費

無料

## 8. 定員

200 名(会場参加のみ。先着順、定員になり次第締め切ります。)

## 9. 申込方法

農研機構ホームページ(イベント・セミナーのお知らせ)から、参加申込フォームにより、申込み。  
<http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/warc/>

## 10. 申込先・問い合わせ先

農研機構 西日本農業研究センター 周年放牧研究領域 周年放牧グループ  
 メール:sanbe-symposium@ml.affrc.go.jp